

生物どうしの関わり合い～からだのつくりや共生・寄生～

自然界には約870万種もの生物がいて、それらはいろいろな場面で、互いに関わり合って生活しています。では、具体的にはどのような関係があるのでしょうか？「関わり合い」という視点から、生物たちの生活について考えてみましょう。



鳥や昆虫になっただけで考えてみるのも、一つの方法ですね。



地球

館

1階

25

受け継がれる生命



1

鳥や昆虫を利用した送粉



鳥や昆虫に花粉を運んでもらう花には、どのような特徴があるかな？
絵で表現したり、言葉で説明したりしてみよう。

_____に花粉を運んでもらう花（_____）
(鳥や昆虫の名前) (花の名前)



花粉を運んでもらうためには、どんな工夫があると都合がよいのかな？

地球

館

B3

階

24

栄養を求めて



2

ウシの消化器官と消化のしくみ



ヒトやライオンは野菜や草を消化しにくいのに、ウシは消化できる理由は何でしょうか？



展示ケースの説明文や映像「植物からなる無限のエネルギー」をよく見よう。何かヒントが隠されているかも…。

ウシの消化器官は長いなあ…。でも、ウシが植物を食べてエネルギーを取り出すことができるのは、消化器官が長いからだけなのかな…？





3

協力し合う、利用する



生物どうしが互いに協力し合う「共生（相利共生）」、共生の一種で、相手を一方向的に利用する「片利共生」や、一方は利益を受けるもの他方は不利益を受ける「寄生」の例を展示から探してみよう。



協力し合う生物たちの例
（相利共生）

相手を利用したり、相手に利用されたりする生物たちの例
（片利共生や寄生）



イソギンチャクは自分で移動することはできないよ…だけど、ある動物に協力することで、別の場所に運んでもらうことができるんだ。



どのような方法で相手と協力したり、相手を利用したりしているのかな？



日常生活で見かける生物を例にして、他の生物との関わり合いを考えてみよう！



感じたこと

わかったこと

考えたこと



花粉を運ぶ鳥や昆虫がいなくなってしまうと、花はどうなるかな…？



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名